

次世代型薬剤師を育成

京都薬科など3大学連携協定

全国初

京都薬科大（京都市山科区）、星薬科大（東京都品川区）、明治薬科大（同清瀬市）は、超高齢化社会に対応できる「次世代型薬剤師」の養成を目指す全国初の連携協定を結んだ。現役薬剤師向けに新しい技術や手法を学び直す「リカレント教育」や、就職支援プログラムも共同で開発。人材交流や学会の連携運営もしていく。

国民の3人に1人が65歳以上となる202

5年には在宅医療が中心となることを見据え、長期にわたり患者と関わる薬局薬剤師の育成に力を入れる方針だ。

3校はいずれも創立100年を超え、2017年度に全国で資格を得た薬剤師の11%が3校の新卒者という。連携協定は京都薬科大が呼びかけ、他の2校が応じた。京都薬科大に事務局を置き、運営委員会で行動計画を検討して、実行可能なも

のから順次着手するといふ。
【菅沼舞】